

「第3次五所川原圏域定住自立圏共生ビジョン」（案）についての意見募集結果について

市が実施しました「第3次五所川原圏域定住自立圏共生ビジョン」（案）の策定にあたっての意見募集に対し、貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございました。

いただいた意見の概要とそれに対する市の考え方は下記のとおりです。

記

1 意見募集期間

令和8年2月10日から令和8年3月11日まで（30日間）

2 募集方法

市のホームページ（<http://www.city.goshogawara.lg.jp/>）に案の概要等を掲載したほか、市ふるさと未来戦略課、行政資料スペースに備え付けました。

意見提出は、郵送、電子メール、FAXのいずれかの方法によることとし、提出言語は日本語としました。

意見提出にあたっては、提出者の氏名・住所（法人等の場合は、その名称・事務所所在地等の連絡先）の明記を条件としました。

3 提出された意見

1人の方から延べ6件の意見をいただきました。その反映状況は次のとおりです。

文章修正等	記述済み	実施段階検討	反映困難	その他	合計
2件	2件	1件	0件	1件	6件

「文章修正等」・・・本文の修正、記述の追加等意見を反映させるもの。

「記述済み」・・・既に記述済みのもの。

「実施段階検討」・・・計画の実施段階で検討又は対応すべきもの。

「反映困難」・・・反映が困難なもの。

「その他」・・・質問や感想。施策の体系外への意見。

意見の内容とそれに対する市の考え方及び意見を考慮した結果決定した案は、次のとおりです。

（提出された意見の内容とそれに対する市の考え方）

提出された意見	市の考え方
医師派遣要望事業で、「要望活動1回」がKPIでは成果を測れない。	本共生ビジョンは、五所川原圏域定住自立圏の構成市町が連携して取り組む事項について取りまとめたものです。医師確保対策は、市町村の取組だけでは効果を上げることが難しく、関係機関に対し制度改正等の要望を実施することは必要な施策であると考え、要望回数をKPIに設定しています。なお、医師確保の要望活動は、圏域での青森県に対する要望のほか、個別の市町が市長会等を通して行っており、今後も医師確保につながるよう機会をとらえて実施していきます。（記述済

	み)
高齢者増に対する介護人材確保に関して対策がない。	本共生ビジョンは、五所川原圏域定住自立圏の構成市町が連携して取り組む事項について取りまとめたものです。介護人材の確保は重要な課題であり、現状個々の市町で取り組んでいるところですが、今後必要に応じて圏域での連携した取組を検討します。(実施段階検討)
創業支援事業で、K P I が相談者数となっており、創業数を追っていない。	圏域における創業実現者数を指標として追加します。(文章修正等)
圏域特産品イメージ・ブランド力向上事業のK P I が物産展出展回数増では販路拡大の質が測れない。	本共生ビジョンは、五所川原圏域定住自立圏の構成市町が連携して取り組む事項について取りまとめたものです。圏域で連携して物産展へ出展することで、個々の市町が単独で出展するよりも効果的なP Rが可能であると考え、物産展出展回数をK P Iとして設定しています。(記述済み)
婚活支援事業のK P I が会員数だけで成婚成果を追っていない。	圏域における成婚者数を指標として追加します。(文章修正等)
第1次・第2次産業就業者減少の深刻さに比べ、産業施策が軽い。若者雇用や所得改善の施策がない。若年女性流出、進学流出、就職流出などの分解分析がない。五所川原圏域に「どうしても住みたい」と思わせるような、他地域と差別化された攻めのビジョンがない。	本共生ビジョンは、医療・福祉・教育等の各分野で五所川原圏域定住自立圏の構成市町が連携して取り組む事項について取りまとめたものです。人口減少時代にしっかりと向き合いながら、圏域住民の生活機能を確保し、将来にわたり安全安心に暮らすことができるよう検討を重ね、必要な施策については随時追加していきます。(その他)